

## 一年間ありがとうございました

昨年度から、「特別の教科 道徳」が完全実施され、教科書を使っの授業を進めてまいりました。通山小では、今年度も子どもたちの道徳性の育成に力を注いできました。

2月の学習発表会では、道徳で学習したことを創作劇にして発表した学年もありました。道徳性は、学習したからといってすぐに育つものではないですが、子どもたちの心の成長を感じることができるのは、子どもたちを支えてくださる家庭・地域の方々の御協力のおかげです。本当にありがとうございました。

3 学期は通知表「のびゆくすがた」に、1 年間を通しての「道徳の学習の様子」を文章でお知らせします。子どもたちのがんばりを認め、今後の生活に生かせるようお願いします。

## 4年生の授業より

### <こんな学習をしました>

「三つのつつみ」という教材を使って、「親切、思いやり」についての学習をしました。

### <ねらい>

次に来る人のために自分がすべきことをするデルスウの行為の素晴らしさに気づき、人を思いやり進んで親切にしようとする心情を育てる。



### 教材の内容

昔、ロシアのウスリー地方に、年老いた獵師、デルスウが住んでいました。デルスウは地理学者のアルセーニエフに頼まれて山を案内していたときの事です。山奥の小さな小屋で休憩していました。お昼を食べ疲れた体を休めていると、なんとデルスウは薪割りをしていました。薪割りが終わると、アルセーニエフに塩とお米がほしいと頼みました。さらに、自分で持っていたマッチをそれぞれ別の皮袋に入れ、小屋の天井からひもでつるしてしまいました。デルスウは、ふいに、この山小屋に来る人がこまらないように準備していたのです。

### 三つのつつみをなぜ用意したのか気づいたとき

- ・ 次の人のために考えているんだな。なんて優しい人なんだらう。
- ・ デルスウは、人のことを考える優しい人物なんだな。
- ・ 自分も気づいてあげるべきだったな。
- ・ 優しい人だな。
- ・ 死んでしまうかもしれないこまった人は、とても感謝するだらうな。



### <<子どもの振り返りより>>

- ・ 人のことを考えた行動をしていきたい。
- ・ 自分もトイレのスリッパを並べたりして、次の人のことを考えて行動していきたい。
- ・ 靴が並んでないときは、気づいたら自分のでなくてもしてあげたい。
- ・ 人のことを考えた行動をすると、次の人はきっと感謝してくれると思った。
- ・ 水道が上を向いていたときに、次の人のことを考えて、下に向けてあげたい。
- ・ 相手が見ていないところでも、親切にすることができるんだな。

## 5年生の授業より

### <こんな学習をしました>

正義がどんなものであり、大切なこともわかっているが、行動に移すことは難しい。日常生活を思い返すことで、まず、それらを子供たちに実感させ、「名前のない手紙」という教材を使って、正義を実現するために大切なことは何かを学習しました。

### <ねらい>

吉野さんの行動や、周りの子供たちの思いや悩みを通して、いじめがあることを心から望んでいるものなどだれもいないのだということを理解し、公正・公平な態度を大切にしようとする心情を育てる。

### 教材の内容

主人公の「わたし」が些細なことがきっかけで、クラスのリーダー格である「ミッコ」から仲間外れにされ、一人ぼっちの時間を過ごすようになる。ミッコが怖い周りの友達には、何もできないが、吉野さんが自分にできることはないかと考えわたしに励ましの手紙を書くという話である。

### もし、クラスにいじめがあったら…

いじめを止める自信がある

- ・ 相手の子の痛みを思うと止めるしかない。
- ・ 大きくなる前に止めないといけない。
- ・ 助けたい気持ちが強い。

いじめを止める自信がない

- ・ ややこしいことになりそう。
- ・ 自分も巻き込まれそう。
- ・ 自分も同じことをされそう。



### <<子どもの振り返りより>>

これからは どんなどきに どうしたい？

- ・ 困っている友達がいたら、相手の気持ちを考えて助けてあげられるようにしたい。
- ・ 友達が困っていたら、関係ないと思わずに、自分にできることを考えることが大切。
- ・ いじめが起きないように、みんなが優しくし合えるようにしたい。